

## 受け手のリテラシーに目を向ける



国立研究開発法人日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

induced pluripotent stem cell

**難病などの研究における  
iPS細胞の活用  
に関するご案内**

iPS細胞を作製し、病気の原因解明や、治療法などの開発、治療や治療法の開発を目的とする研究に使用し、  
患者・提供もとの情報を適切に伝える方を募集しています。

低学年用



病気を\*なおす\*方ほうや新しい\*お薬を\*さがす  
お手つだいの\*おねがい

国立研究開発法人日本医療研究開発機構  
・説明補助パンフレット  
・絵本（幼児用・低学年用・高学年用がある）

画像は国立研究開発法人日本医療研究開発機構 戦略推進部 再生医療研究課 Webサイトより  
[https://www.amed.go.jp/program/list/01/02/RM\\_ethics.html](https://www.amed.go.jp/program/list/01/02/RM_ethics.html)

2019年度 日本生物教育会（JABE）第74回全国大会 岡山大会

## 受け手のリテラシーに目を向ける

難病研究のためにiPS細胞を作って利用したいので採血に協力して欲しいと医師から言われた。

- 1 可否の返事をするためにどんな情報が欲しいですか。対象があなたの幼い子供（または妹弟）ならどんなことを説明してあげて欲しいですか。グループで出し合って書いていこう。
- 2 パンフレット・絵本（低学年用）を読んで、
  - ・ 1で挙げたことのうち、説明があり、解決したものにチェックを入れる。残ったものを○で囲む。
  - ・ パンフや絵本の中に、1で出ていないが、説明されていることがらを抜き出して書いていこう。

2019年度 日本生物教育会（JABE）第74回全国大会 岡山大会

## 受け手のリテラシーに目を向ける

難病研究のためにiPS細胞を作って利用したいので採血に協力して欲しいと医師から言われた。

- 1 受け手が知りたかった情報
- 2 研究者（技術を使う側）が受け手に知っておいて欲しい知らせておくべきだと考えている情報
- 3 パンフと1との違いは、研究者と受け手（我々）との意識のズレと捉えることができる。  
新しい技術に対して、我々はどのような視点や意識を持って情報を得ることが必要だろうか。

欠けていた視点に気づく 評価のプロセスを体験

2019年度 日本生物教育会（JABE）第74回全国大会 岡山大会

ステップディスカッションシート 段階を追って話し合い、課題を認識するシート

◇新しい技術を受け取る側として持つべき意識は何かを考えよう。

難病研究のためにiPS細胞を作って利用したいので採血に協力して欲しいと医師から言われた。

1	可否の返事をするためにどんな情報が欲しいですか。対象があなたの子供ならどうですか。	
	自分なら	子供なら

2	説明パンフと1を比べよう。説明があったことには赤で✓をつけ、残ったものを○で囲む。 1で出なかったがパンフで説明してあったことを書き出そう。
---	---

3	パンフと1との差は技術を利用する研究者側とその受け手（我々）の意識の違いと言える。 新しい技術に対して我々はどのような意識を持って情報を得ることが必要ですか。3つ以上書こう。
---	--

2019年度 日本生物教育会（JABE）第74回全国大会 岡山大会